

2023年度 出張講義一覧

リハビリテーション学科(作業療法学専攻/理学療法学専攻)

講義テーマ	講義内容	分野
こころの障がいと作業療法 ― 人と作業と環境の視点から―	リハビリテーションの専門技術としての作業療法について、精神障害領域での作業療法士の立場から説明します。見えにくくわかりにくいと言われるこころの病について簡単に解説し、その上で、こころの障害を持つ方々に対しての作業療法については、人（対象者と作業療法士の特性や関係性）と作業（作業が持つ意味や目的、作業療法での用い方）と環境（人的環境や物的環境との関わり）の視点から、模擬事例を用いて説明します。	作業療法 （精神機能の障害）
ひとりひとりにとっての大切な作業が治療になるって？！	作業療法は対象者おひとりおひとりを尊重し、作業を用いることでその方を健康にできる素敵な職業であり、リハビリテーション専門職です。今回の講義では、動画と作業療法の実践事例を用いて作業療法を紹介し、身体領域において、ひとりひとりにとっての大切な作業を治療として用いることのユニークさとその意味について学んでいただきます。	作業療法 （身体領域）
不器用な子ども達 の理解と支援～学校作業療法士～	近年話題になっている不登校など子どもを取り巻く課題が注目されています。運動や手先の不器用さ、人との付き合い方の不器用さを持つ子ども達は学校生活で困っていることが実はたくさんあります。作業療法士は、学校における子ども達の困り感に寄り添い、応援団として支援しています。子ども達の困り感の背景や学校作業療法士の役割や実践についてお伝えします。	子ども
認知症の予防と作業療法の必要性	認知症の予防には、身体活動と認知課題を同時に実施することが効果的です。この身体活動には、運動だけでなく生活行為も含まれます。生活行為とはセルフケアや仕事・学習、余暇という普段行う活動のことで、作業療法はその生活行為を支援する専門家です。本講義では、認知症の予防とそれに貢献する作業療法について説明します。	作業療法
運動とダイエット	世の中には、様々なダイエットがありますが、何が良いのでしょうか。運動、特に有酸素運動や筋力の知識をもとに、身体に悪影響のない形で、具体的なダイエットのための運動を紹介します。生きていくために最低限の代謝、お菓子1個のカロリー消費の運動はどの程度か例を挙げて考えます。	リハビリ系
スポーツ選手を支える理学療法	“理学療法士は身体づくりと生活動作の専門家”であり、活動場所はスポーツ現場に広がっています。スポーツでは走る・飛ぶ・投げる・蹴る、などの動きが求められますが、ルールや使用する道具によって身体の動かし方が異なります。高いパフォーマンスを発揮するためには身体づくりと動きづくりが必要であり、理学療法士の知識と技術、そして、動作をみる目がスポーツ現場で必要とされます。スポーツ選手を支える理学療法について説明します。	リハビリ系
理学療法士の活躍の場	近年、理学療法士の活躍の場は拡大しています。今回は、理学療法士の4つの活躍の場についてお伝えしたいと思います。①病院：理学療法士が最も多く活躍する場所、②介護予防：最近では最も活躍が期待されている分野、③研究：理学療法士も論文を書いて新しい医学の発展に貢献しています、④教育：理学療法士の学校で教える先生も理学療法士！	リハビリ系